

期限迫る！

子宮頸がん予防のための HPV ワクチン接種について

公費で接種できる期間は

令和 8 年 3 月 31 日までです！



対象者

平成 9 年 4 月 2 日～平成 21 年 4 月 1 日生まれで
令和 4 年 4 月～令和 7 年 3 月末に HPV ワクチンを
1 回以上接種した女性

平成 21 年 4 月 2 日～平成 22 年 4 月 1 日生まれの女性

- ★持参するもの／母子手帳、身分証明書（氏名・生年月日・住所の表示があるもの）、予診票
- ★接種場所／県内の実施医療機関（下記二次元コードを読み取り、ご確認ください）
- ★予約／必須

予診票は市内の実施医療機関または、こども家庭課窓口にて受け取ることができます。
県外で接種を希望される場合は、事前の手続きが必要となりますので下記まで
お問い合わせください。



お問合せ こども家庭課 母子保健係 ☎0954-23-9216

▲県内実施医療機関

地域おこし協力隊活動通信 vol.3



▲山崎 裕次郎

東京都出身

令和 5 年 4 月より「ふるさとビデオクリエイター」として武雄での暮らしの魅力や地域で活躍される方々の姿を YouTube「たけおんちゃんねる」で発信中。



▲たけおんちゃんねる

みなさん、こんにちは！地域おこし協力隊の山崎裕次郎です。

暑い日が続いていますが、元気に活動しています。7 月・8 月の動きを少しご紹介します。

まずは「若木公民館」についてです。長年地域みなさんに親しまれてきた公民館が新しく建て替えられることになり、先日、起工式が行われました。当日は多くの方が集まり、地域の想いがこもった式となりました。私はその様子を撮影させてもらいながら、公民館が暮らしの中心であり、人をつなげる大切な場所だと改めて実感しました。新しい公民館の完成が本当に楽しみです。

もう一つは、国際的な交流の場でした。佐賀大学理工学部・建築環境デザインコースのさくらサイエンスプログラムという研究交流で、アフリカからの留学生が武雄へフィールドワークに来られました。私は案内役として一緒に地域を歩き、武雄の自然やまちの魅力をお伝えしました。学生さんたちが笑顔で話を聞き、地元の人と交流する姿を見て、こちらまで嬉しくなりました。

これからも地域の皆さんと一緒に、武雄の魅力を発信していきたいと思っています！



▲アフリカの学生たちとの集合写真



地域おこし協力隊とは？

過疎や高齢化の進行が著しい地方において、地域外の人材を積極的に受け入れ、地域協力活動を行ってもらい、その地域への定住・定着を図りながら、地域力の維持・強化を図っていくことを目的とした制度。